



【宝の地図】

■現代の宝の地図

「宝の地図」って、なんてワクワクすることばなんでしょう！「おじいちゃんの家の屋根裏で、宝の地図を発見」、「物置の古いつぼを割ったら中から宝の地図が！」などのシーンを、子ども時代に誰もが一度は夢見たことがあるのではないのでしょうか。残念ながら、「○○家の埋蔵金」や「海賊が隠した宝箱」の地図にはお目にかかったことがありませんが、実はある種の宝の地図は、図書館や本屋さんで手に入りやすい。山奥に人知れず湧く温泉を探す秘湯マニアは地形図を、太古の化石を探す化石ハンターは地質図を持って宝探しに出かけます。宝のありかを示す×印こそついていませんが、見る人が見

れば、これらはすべて宝の地図。知識と経験を総動員して地図を読み解くことから始まる、大人の宝探しです。

■再発見！身近な宝物

未来の自分にあてたタイムカプセルを埋めて、その場所を示す「宝の地図」を作る、子ども時代にそんな遊びをしたことがある人は少なくないのではないのでしょうか。

もっとシンプルに、身近な宝物を地図に書き込んでいく宝の地図作りもおススメです。里山で出会うお気に入りの草花の場所を示す自分だけの「花の地図」や、磯の生物を書き込んでできる「海の生物地図」。書き溜めていけばきつと、季節や地形による生きものの移り変わりが自然と浮かび上がってきます。

こうしてできたオリジナルの「宝の地図」を屋根裏か物置のつぼの中に隠しておけば、孫や曾孫の世代に楽しい話題と謎解きを提供することにもなつて一石二鳥！と思うのですが、いかがでしょうか？



この春、生命の海科学館1階にお目見えした「宝の地図」。下大地や海底のさらなるところがるに隠れた宝物を見「海にできる、その名も「海に地球記憶」です。



蒲郡市内には、多くの城あとがあります。東から順番にあげると、中島城・丹野城・五井城・不相城・上ノ郷城・下ノ郷城・柏原城・竹谷城・形原城。合わせて9カ所の城あとがあります。

ここにあげたお城は、どれも名古屋城や姫路城のようなりっぱなものではありません。土のかべ、木の柵などで作られたもっと簡単なものです。言葉のイメージとしては、「とりで」といった方がしっくりくるかもしれません。数百年の歳月がすぎているので、ほとんど消えてなくなつてしまった城あとがあれば、現在でも当時の様子をよく伝えているものもあります。

蒲郡市内で、もっとも規模が大きく、また状態もよい城あととは、なんととっても上ノ郷城でしよ

お城が語るふるさとの歴史

う。徳川家康が城攻めを行ったことでも有名です。

上ノ郷城には、鶴殿という名字のお殿様が住んでいました。お城は、市内の神ノ郷町にあります。赤日子神社の北西にある小高い丘が上ノ郷城あつです。神ノ郷という地名は、明治時代までは「上ノ郷」と書きました。城あつを表す場合は、昔の書き方を用いています。上ノ郷城は、非常に守りのかたにお城でした。あの徳川家康もふつうの方法では攻め落とすことができず、忍者による奇襲戦法を用いてようやく落とせたくらいでした。

博物館では、今年の3月に上ノ郷城あつと発掘調査報告書を刊行しました。博物館の窓口で、1冊2千円で販売しています。ご興味のある方は、ぜひどうぞ。



上ノ郷城あつと発掘の様子